

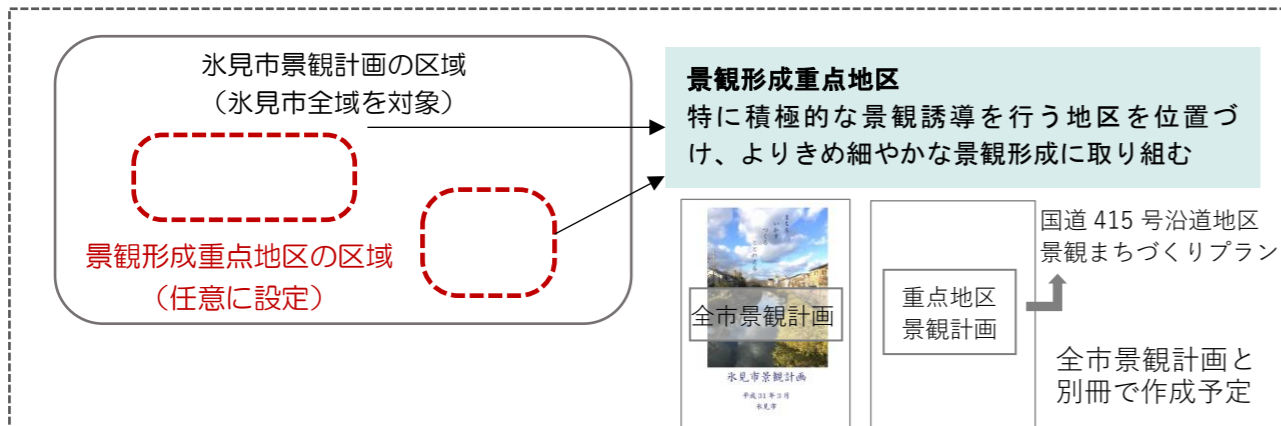
1. 氷見市国道 415 号沿道景観形成重点地区 景観まちづくりプランについて

1) 景観形成重点地区の区域

景観まちづくりのビジョンやテーマを共有し、国道 415 号と一体的な地域としてまちの魅力を高めていく区域を「(仮) 国道 415 号沿道景観まちづくり地区」に設定 (沿道との回遊や連携により、沿道の個性や奥行きを引き立たせることが見込まれる範囲)



「(仮) 氷見 IC アクセス地区」、 「(仮) シンボルロード地区」を含む国道 415 号沿道 (道路境界より 25m 以内の敷地) を景観形成重点地区に指定 景観法の仕組みを活用した景観誘導を図る範囲 (届出や行為制限の対象となる範囲)



景観計画に位置付けられている優先的に対応を検討する4つの地区

氷見市芸術文化館の開館 (令和 4 年 10 月) を契機とし、① (仮称) シンボルロード地区と② (仮称) 氷見 IC アクセス地区について、景観形成重点地区への指定を検討



2) プランに定める内容と構成案

・本計画は、景観特性や目指す方向性を共有する「景観まちづくりの基本方針」と、基本方針に示す内容を推進するための実行ツールを示す「推進方策」の大きく2つの構成とします。

●景観まちづくりの基本方針

第1章 背景や目的

- 景観まちづくりプラン策定の背景と目的
- 計画の位置づけ
- 対象区域
- 計画の構成

第2章 景観特性

- 自然・田園・歴史・文化 まち並み・景観資源
- 今後の景観形成上の課題

第3章 景観まちづくりのビジョン・テーマ

ビジョン 1 地域の多様な魅力が実感できる 景観づくり

みんなで魅力を発掘・整理して 磨き上げる

魅力を巡り、親しめる心地よい回遊 環境をつくる

ビジョン 2 氷見のシンボル軸にふさわしい まち並みの形成

自然環境に囲まれた立地を活かした 景観をつくる

シンボル軸にふさわしい沿道の 景観をつくる

ビジョン 3 生き生きとした景観を育てる 景観マネジメント

生き生きとした景観の創出と守り育てる 景観マネジメント

●推進方策

第4章 活動を生み出す景観づくり

- 活動を生み出す景観づくりの方針 (まもる、いかす、ととのえる、つくる)
- 景観重要建造物・景観重要樹木の指定

第5章 まち並みを形成し、活動を 支える景観づくり

- 景観法に基づく届出制度の活用
- 届出対象行為
- まち並み形成方針・景観形成基準
- 景観重要公共施設の指定

第6章 景観まちづくりの推進

- 景観マネジメント ○推進体制 ○推進プロセス



## 2. 氷見市国道415号沿道景観形成重点地区 景観まちづくりプラン 概要版

### 第1章 背景

#### 氷見市芸術文化館のオープン (2022 (令和4) 年10月)

- 旧市民病院跡地に、文化施設を核としたまちの顔としてオープン
- 文化・交流の拠点としての活用、新たな人の流れが期待される

#### シンボルロード整備構想 (1999 (平成10) 年1月) に基づく街路整備

- 道路の拡幅、歩道の美装化 (9m→16m) を1985 (昭和60) 年～現在
- 電線類地中化 (国道160号～漁港)、デザイン照明や街路樹、ポケットパーク、ストリートファニチャー等を整備

#### 沿道への公共・公益施設の移転・整備

- 旧総合体育館を改修した氷見市いきいき元気館、鞍川地内に移転した金沢医科大学氷見市民病院、旧富山県立有磯高等学校校舎及び体育館を改修した氷見市役所等が沿道に立地

#### 中心市街地等での民間主導、公民連携したまちづくりの動きや移住・新規出店などのニーズの高まり

- 中央町商店街で若者が取り組むまちづくり (もくもく市など) やみなとがわのみのいち 等
- 移住や新規出店のニーズの高まりと氷見市 IUU (移住) 応援センターや氷見まちづくり協議会等の取り組み
- 祭礼やおんぞはん、沿道やポケットパークの日常の清掃や手入れ

### 第1章 目的と意義

#### 景観まちづくりの目的

- 地域で愛される風景等を守り、自然やまち並みなどの物的環境を整えるだけでなく、人々の営みによって生き生きとした景観をつくり育てる。
- その実現のために、公民が協働して継続的な景観マネジメントに取り組む。

#### 景観まちづくりの意義

- 暮らしの環境を豊かにする
- 人の営みや活動が見える沿道の創出
- 地区内外の人々の交流の場、居場所の創出
- 地域に根づいたローカルビジネスの創出
- 身近な地域への誇りや愛着の形成
- 次世代に魅力あるまちを引き継ぐ

### 第1章 上位・関連計画の位置づけ

#### ■第9次 氷見市総合計画 (2022 (令和4) 年3月)

目指す都市像「人 自然 食 文化で未来を拓く交流都市 ひみ」

即する

即する

#### ■氷見まちなかグランドデザイン (2018 (平成30) 年3月)

ひみ番屋街周辺～市役所周辺をまちなか形成軸 (にぎわいと魅力づくりの骨格を形成する軸) に位置づけ  
〈シンボルロード沿道の方針〉  
魅力と活気のある街並みづくり / ・ホスピタリティのある演出

#### ■氷見市都市計画マスタープラン (2019 (平成31) 年3月)

国道415号を通勤・通学や日常生活を支える重要なネットワークとしての機能強化、賑わいや生活利便施設の向上に向けた沿道利用を図る「都市間連携軸」として位置づけ  
〈地域のまちづくりのテーマ〉氷見の玄関口としての市街地と里山・田園風景が調和した活力と潤いのある地域

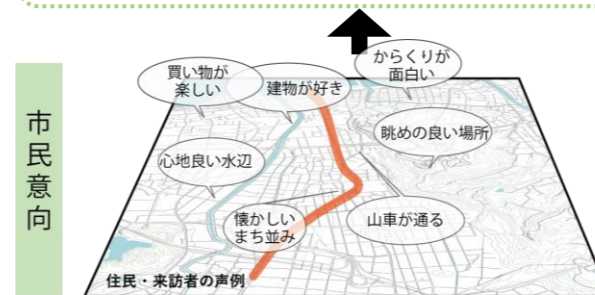
連携

### 第2章 特性・課題の把握

- 空間的な要素 (自然、歴史文化、土地利用やまち並み) と市民意向を踏まえ、特性・課題を把握

#### 景観の特性・課題図の作成

#### 景観の特性や課題の抽出



市民意向

#### 地域住民・来訪者の考えるまちの印象 今後してみたいことや過ごし方

- ・祭り・イベントなど心象的な景観
- ・住民・来訪者の声 (アンケート、ワークショップや実証実験を通じて抽出)
- 即地的な場所 (好きな場所等)
- 地区の印象を語るキーワード
- 沿道でしてみたいことや過ごし方



#### まち並みや沿道の特性、拠点施設や大事な結節点

- ・土地利用現況や公共施設・観光資源マップ等より景観資源の抽出
- 港湾、公園、公共施設、その他の拠点
- 国道415号線のゾーニングと、景観形成のポイントとなる結節点等



空間的な要素

#### 地区を取り巻く歴史・文化的文脈

- ・旧地図や絵図、現況より抽出
- 旧市街地 (旧町名単位を尊重)
- 旧集落地と旧街道、まち並み
- 社寺、地藏尊等
- その他歴史を物語るランドマーク



#### 地区を取り巻く自然的文脈

- ・まちを取り巻く地形地物の構造を抽出
- 富山湾 (有磯海)
- 宝達山地から伸びる丘陵の緑、朝日山
- 上庄川、湊川
- 眺望点と眺望景観

### 景観特性

#### 自然・田園

- ・背景に朝日山の稜線が連続する沿道景観
- ・広がる田園 (氷見市民病院～氷見 IC)
- ・朝日山、上庄川と近接

#### 歴史・文化

- ・旧街道や古くから形成された道筋が国道415号と平行・交差、鞍川中町線や集落地など歴史的な趣が感じられるまち並み
- ・地藏様 (おんぞはん) や祭礼・行事、社寺などが多数存在

#### まち並み

- ・多くの公共公益施設、ハッピータウンなどの大型の商業施設が沿道に多く立地
- ・沿道土地利用や周辺とのつながりにより、土地利用のまとまりが見られる

#### 景観資源

- ・氷見らしい景観 (田園、朝日山や立山連峰など) を眺めるビューポイント
- ・近接する旧市街地や上庄川、旧道、朝日山には古いまち並みや社寺・おんぞはん、水辺といった多様な資源が存在

### 今後の景観形成上の課題

- 活かすべき地区の特性として、眺めの良さを大切にしていく
- 沿道を取りまく景観とのつながりを強化していく
- 土地利用のまとまりごとに落ち着きや秩序の感じられる景観を維持・育成していく
- 国道415号とその周辺を「歩き」「活動する」空間としていく



### 第3章 景観まちづくりのビジョン・テーマ

#### ビジョン1 地域の多様な魅力が実感できる景観づくり

みんなで魅力を発掘・整理して磨き上げる

魅力を巡り、親しめる心地よい回遊環境をつくる

#### ビジョン2 氷見のシンボル軸にふさわしいまち並みの形成

自然環境に囲まれた立地を活かした景観をつくる

シンボル軸にふさわしい沿道の景観をつくる

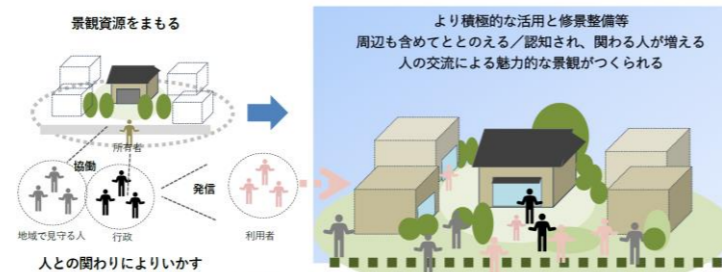
#### ビジョン3 生き生きとした景観を育てる景観マネジメント

生き生きとした景観の創出と守り育てる景観マネジメント

### 第4章 活動を生み出す景観づくり

#### 活動を生み出す景観づくりの考え方

- 沿道周辺の歴史・文化的、自然的な資源や観光やまちづくりの拠点エリアなどの魅力ある資源
- 沿道には、公共施設が集中して立地し、公共的なオープンスペースが多いことや空き地や空き店舗等の潜在的なストック



景観資源を"まもる"、"いかす"、"ととのえる"、"つくる"取組みのイメージ

国道415号沿道とその周辺の資源を、関わる人みんなで顕在化、共有し、活用していく活動を生みだしていく

#### ①景観資源をまもる活動

- 景観資源を掘りおこし、守る取組みと仕組みづくり
- 既往制度活用による指定・保全

#### ②景観資源をいかす活動

- 市民や事業者等の関わりでの促進・支援
- 情報発信の取組み強化

#### ③景観資源をととのえる活動

- 景観資源への配慮

#### ④景観資源をつくる活動

- 景観資源を活用しながら新たな魅力的場所をつくっていく



まもる：氷見高校と連携した探求・実践活動



いかす：公共のオープンスペースや民間の空地・空き店舗などのストックを実験的に活用できる仕組み



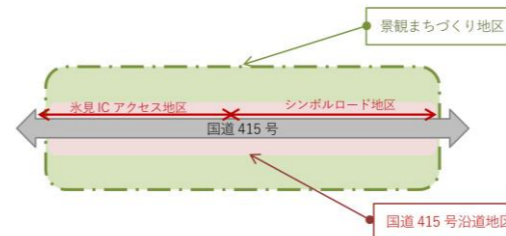
いかす：ひみ景観インスタグラムフォトコンテスト

### 第5章 まち並みを形成し、活動を支える景観づくり

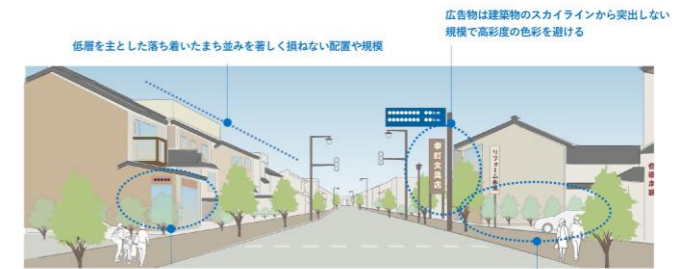
#### 景観法に基づく届出制度の活用

- 地域特性を活かしたまち並みの形成

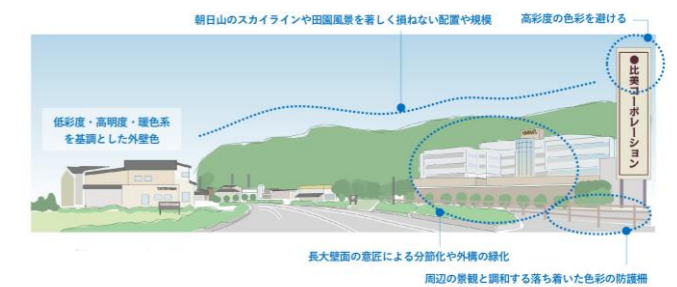
・「まち並み形成方針」（配慮すべき事項）、「景観形成基準」（遵守事項）により、建築物・工作物等の誘導を図る。



名称	対象	まち並み形成方針	景観形成基準	届出
国道415号沿道地区	国道415号の道路境界より25m以内の敷地	適用	適用	必要
景観まちづくり地区	本計画の対象地域	適用	任意	氷見市景観計画に準ずる



シンボルロード地区の景観誘導イメージ



氷見 IC アクセス地区の景観誘導イメージ

- まち並みと一体となり、景観まちづくり活動を支える公共施設（道路、広場等）

・「氷見市景観計画」に定める「景観重要公共施設の整備に関する事項」に基づき、本地区の景観重要公共施設の候補及び維持管理の方針等を定める。



国道415号や氷見市芸術文化館



上庄川



各施設に共通する主要要素の整備方針の例



各施設に共通する主要要素の整備方針の例

### 第6章 景観まちづくりの推進

#### 景観まちづくりの推進と景観マネジメント

##### 活動を生み出す景観づくり

- 活動支援
- 情報発信
- 普及啓発

##### まち並みを形成し、活動を支える景観づくり

- 不適格建築物の是正
- 好ましい建築物・広告物の集計等の支援

#### 推進体制

- ・市民等や団体と市がそれぞれの役割や得意なことを活かす
- ・段階的に育っていく連携・協働体制の構築を検討



#### 活動やまち並み形成の支援

##### ○活動の支援

- ・景観まちづくり地区内における活動に対する支援（活動助成）

##### ○まち並み形成の支援

- ・既存不適格となる建築物や、良好な景観まちづくりに資する建築物や屋外広告物の修景などに対して、一定の支援（助成）

